

OKEN

桜建会報

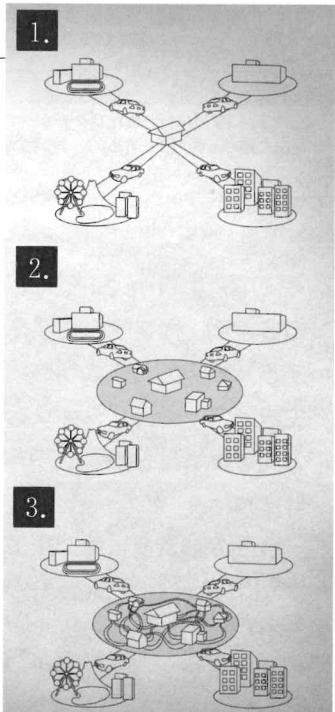
2016-March No.105

日本大学桜門建築会

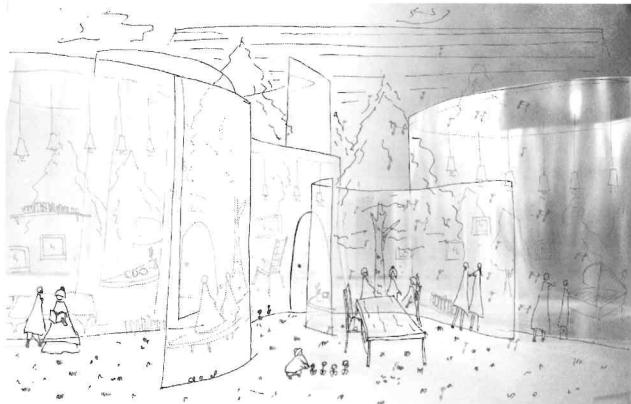
<http://www.okenkai.jp/>



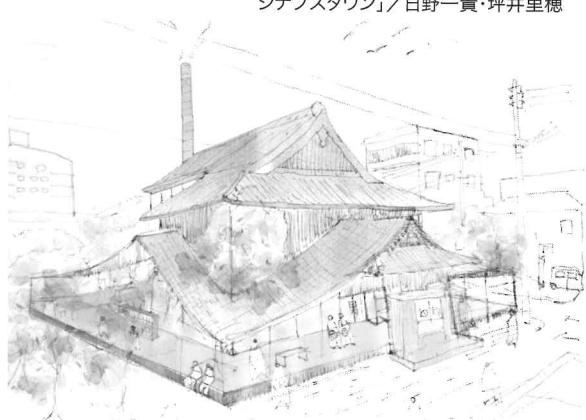
最優秀賞「まちに架ける交番」／平間裕大・村岡祐美



優秀賞「車の消えたもう一つの街
シナプスタウン」／日野一貴・坪井里穂



優秀賞「やわらかなカーテンウォールの家」／齊藤佑樹



最優秀賞「銭湯と街の縁側」／野下啓太

contents

トピックス◎第7回日本大学桜門建築会学生設計コンペティション結果報告——2

研究室紹介◎塩川研究室——5

事務局だより——5

斎藤賞・加藤賞・桜建賞 2015年度受賞者一覧——6

2015年度建築系授与賞・受賞者一覧——8

追悼◎石丸辰治先生——10

学部ニュース——11

トピックス●

第7回日本大学桜門建築会学生設計コンペティション結果報告

テーマ・みんなが集まる場所



左／7月15日に行われたレクチャーで説明する西沢立衛氏。中／1次審査の会場で討議をする西沢氏(中央)と吉澤大輔先生(左)、佐藤慎也先生(右)。右／表彰式で、授賞の理由を述べる西沢氏。左から、村岡さん、平間さん、野下さん

2015年11月21日に、日本大学の各学部、大学院の在学生を対象とする「第7回日本大学桜門建築会学生設計コンペティション」の第2次公開審査が理工学部CSTホールで開催された。

今回の審査員には、理工学部建築学科で非常勤講師を1998年から2001年まで務められ、現在では世界的に活躍されている建築家の西沢立衛さんを迎えた。

不思議なことが起きる共有の場

第2次公開審査に先立ち、7月15日の公開レクチャーの中で、今回の

コンペのテーマ「みんなが集まる場所」が西沢さんにより出題された。この主旨について、西沢さん自身のレクチャーを元に説明する。

「建築のデザインだけでなく、背景を含めて魅力的に提案してほしい。自分が設計するときに意識しているのは、どういうふうに人びとが集まるのか、どんな居場所がいいのか。建築単体ではなく、街の中でどういうあり方がいいのか考える。

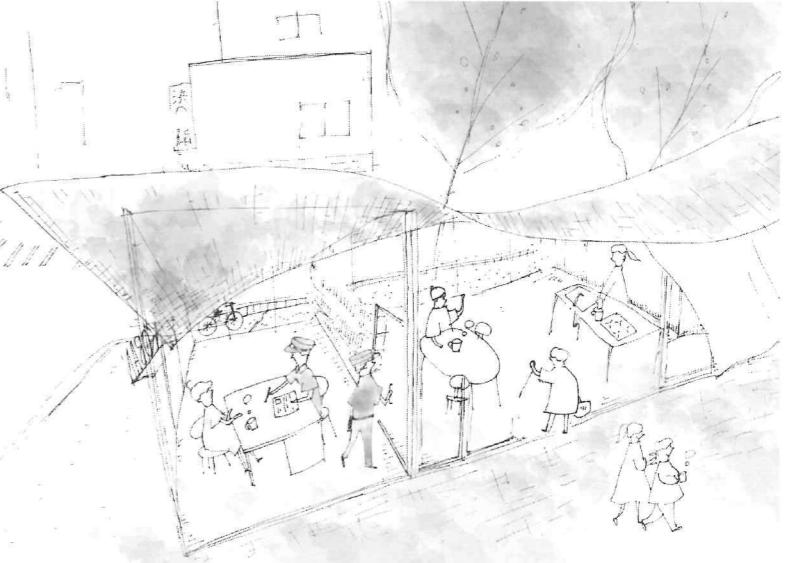
建築は大きいので建つだけで注意を惹き、みんなが集まつてくるような象徴性がある。また、洋服と違い、空間はみんなで経験するものであり、

交流や集会ということが空間の個性と見てとれる。

西洋建築史の勉強を始めると、建築の起源としてパルテノン神殿を知る。これは、神のための建物なので、人びとは中に入らず、外から見て空間の経験を共有する。英語であればランドマークやモニュメントといわれるものである。その後、ローマ時代となり、市民社会の到来により、神も市民も平等の時代となる。そこでパンテオンという建物がでてくる。建築の中に人が進入できる最初期の建物である。神殿ではあるものの、人が入ることを許すために真ん中が

最優秀賞 「まちに架ける交番」 平間裕大・村岡祐美

講評●交番という機能に着目し、積極的に街を開くことで、地域の新たな場所を創出する。そこにはさまざまな日常が詰め込まれ、常に警官がいて管理運営し、街のアイコンとして機能。地表から滑らかに立ち上がるデザインを含め、全体として評価された。



円形で空いていて、奥の間がなく、どこからでも入れるようになっている。今までいう多目的ホールのようなものである。このような大きなワンルームは、みんなでひとつの経験を共有するという不思議なことが起きる」という。

場所、人、交流のかたちも考える

さらに西沢さんは「経験は個人的なものだが、みんなで場所を共有することが空間のもつ力といえると思う。パンテオンだけでなく、パルテノン神殿も丘の上に建ち、光を放つように周りに対して環境

的なインパクトをもつ。そういう象徴性みたいなものがあると、なにかがそこで起きていると人びとが感じて、惹きつけられる。

ヨーロッパの寺院の前の広場も同じような空間があり、日本の路地もみんなで共有している空間であり、われわれは今まで、いろいろな方法で人びとが集まつたりすることを、建築内・外を問わず、広場のようなものも含めた空間を使って実現してきた。時代が変われば、人が集まる状況は変わる。

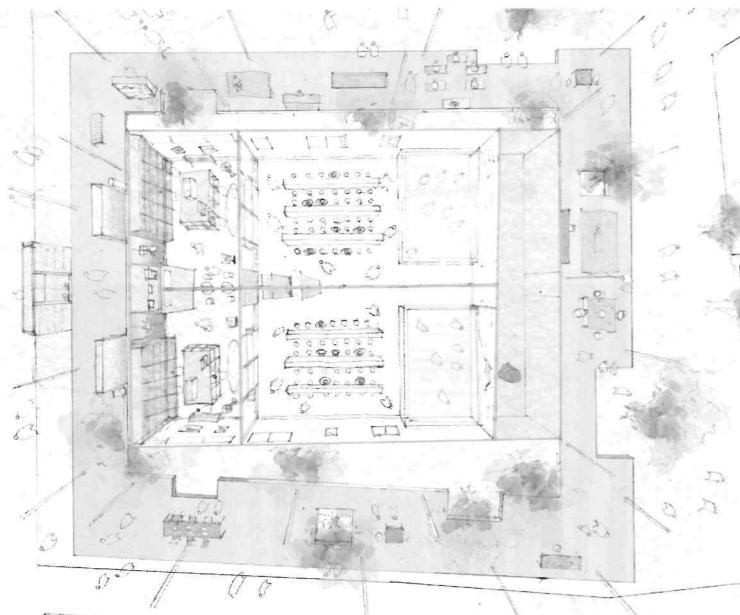
例えば、今のようななかたちの図書館は江戸時代にはなかった。最近で

は、グループホームやシェアハウスのようなものもでてきた。みんなが集まる場所を考えることを、どんな場所で、どんな人と、どういう状況で交流することがおもしろいのかを考えて、建築単体だけでなく、どういう人が入って出て行くか、どういう街に建つことで魅力的になるか、全体像を示しながら提案してほしい。このようなことばを用いてテーマの意図を説明した。

その後、西沢さんご自身の作品を通して、みんなが集まる場所というテーマを具体的に、かつ多面的に熱心に説明していただいた。会場に集

最優秀賞 「銭湯と街の縁側」 野下啓太

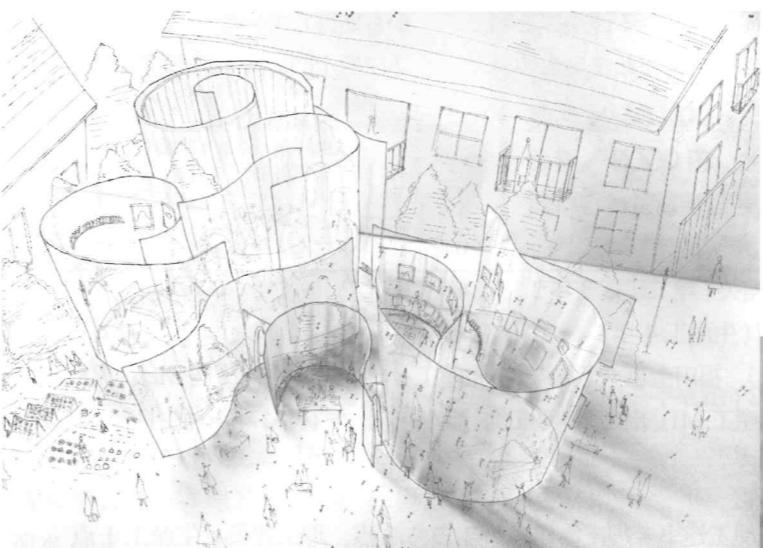
講評●銭湯を取り囲む塀を取り払い、縁側を周囲にぐるりと回すことによって、街と人が交じり合うような風景をつくりだそうとした。単純な仕組みの提案であるが、既存のものの解釈から提案までのつながりのある考え方が評価された。

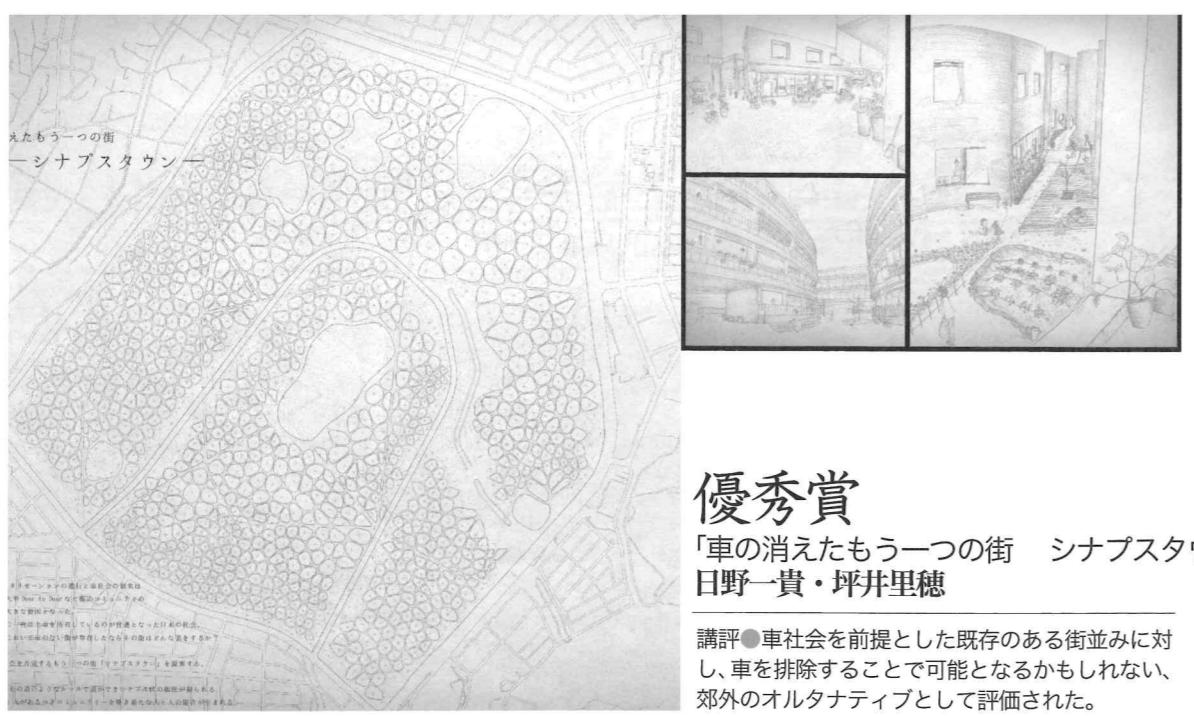


優秀賞

「やわらかなカーテンウォールの家」(左)
「2000mの結節線」(下)
齊藤佑樹

講評●やわらかなカーテンウォールの家」は、壁を透明にすることで、豊かな生活を営む可能性を示唆した。「2000mの結節線」は、都市の中に地域性をもつ小さな機能を帯状に配置することで、大きな開かれた場をつくっている。





優秀賞

「車の消えたもう一つの街 シナプスタウン」
日野一貴・坪井里穂

講評●車社会を前提とした既存のある街並みに対し、車を排除することで可能となるかもしれない、郊外のオルタナティブとして評価された。

また学生たちに向け、建築に向かう難しさと、建築がもつ可能性を、訴えかけるようなレクチャーであった。

最優秀賞2点、優秀賞2点を選出

第1次審査で選出された応募者10組が、第2次公開審査でそれぞれがプレゼンテーションを行った。審査の結果、最優秀賞が2点「銭湯と街の縁側」野下啓太(理工建築4年)および、「まちに架ける交番」平間裕大・村岡祐美(理工建築3年)が選ばれた。

優秀賞の2点には「やわらかなカーテンウォールの家」、「2000mの結節線」齊藤佑樹(理工建築M1)および、「車の消えたもう一つの街 シナプスタウン」日野一貴・坪井里穂(生

産工4年)が選ばれた。

もっと応募を!

今回のコンペでは、設計条件だけでなく、提出の形式も自由であったため、模型やブックレットなどのバリエーションが見られたが、概ねA1サイズのパネルによる応募が多くなったのが少し残念であった。また、そのような状況が審査にも影響したのか、突出した提案が見当たらず、最優秀賞2点という結果となった。しかししながら、賞の受賞を通して、今後も頑張って欲しいという西沢立衛さんの計らいが全員に伝わったのは確かであろう。

毎年、活躍されている建築家を審査員にお招きし、開催している本コ

ンペティションだが、今回の応募総数は、38点に留まった。

コンペに参加するというのは、賞の受賞だけが目的ではない。当然、自身の表現力の向上、締め切りまでにやりきるというスケジュール管理のスキルも副次的なメリットとしてあげられる。なにより得難いものは、提出後に実感できるであろう、自分の想いをかたちにして公表し、それに対する反応を見ることができるこことである。そのような場所としてコンペは最適、最良な仕組みである。だから、今以上にコンペを利用してもらいたい。学生のみなさんには、来年以降の、もっと多くの応募を心から期待している。

(二瓶士門／理工学部建築学科助手)

審査結果

最優秀賞／野下啓太(理工建築4年)、平間裕大・村岡祐美(理工建築3年)

優秀賞／齊藤佑樹(理工建築M1)、日野一貴・坪井里穂(生産工4年)

佳作／石中村歩香・平方李果・宝迫嘉乃(理工建築3年)、福田奎也・筒井祥平(生産工3年)・金兵祐太(同M2)、児林幸輔・山下ジロ(生産工3年)、岡田遼・加藤裕太・岩崎耕平(生産工M1)、出山亮(理工海建M1)・森浩平(同4年)・蒲生良輔(同3年)

応募総数 38点

内訳／理工建築23点、理工海建5点、生産工8点、理工建築+理工海建+理工まち1点、理工建築+生産工1点

研究室紹介

研究テーマ

サウンドスケープの調査研究および建築音響・騒音制御に関する研究

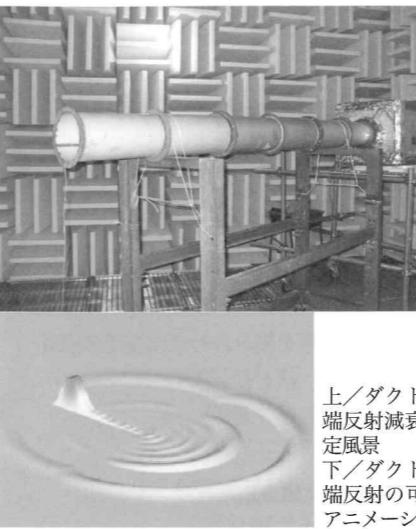
研究室名 塩川研究室

教員名 教授・塩川博義

キーワード サウンドスケープ／残響室／無響室

企業等への要望 共同・受託研究の要請 計画・設計等の協力 研究成果の事業化等 その他

研究概要



上／ダクト開口端反射減衰の測定風景
下／ダクト開口端反射の可視化アニメーション

連絡先◎生産工学部建築工学科 津田沼キャンパス5号館2階 Tel 047-474-2514 E-mail shiokawa.hiroyoshi@nihon-u.ac.jp

事務局だより

平成28年度の桜門建築会総会のご案内



会場案内図／JR 御茶ノ水駅、地下鉄丸ノ内線御茶ノ水駅、地下鉄千代田線新御茶ノ水駅より、徒歩5分程度

来るる5月25日(水)に平成28年度の桜門建築会総会を、東京ガーデンパレスにて開催いたします。会員の皆さまは、どなたでもご出席で

きますので、どうぞふるってご参加ください。なにかご不明な点がございましたら、HPをご覧いただくか、事務局までお問い合わせください。

日時／平成28年5月25日(水)

総会／18:00～懇親会／19:00～

会費／8000円 会場／東京ガーデンパレス

問い合わせ電話番号／03-3259-0649(事務局 10:00～17:00)

新入特別維持会員のご紹介

新規入会者 氏名／卒業年／勤務先 (平成27年11月5日～平成28年2月23日) 5名

福井 剛

楠木 堅曹

速水 清孝

理工海 -H5

理工建 -H24

他大学 -62

日本大学理工学部

愛知(株)

日本大学工学部

酒井 勲

鎌田 貴久

日本大学工学部

理工建 -H17

他大学 -H15

戸田建設(株)

斎藤賞・加藤賞・桜建賞 2015年度受賞者一覧 *受賞論文・作品の紹介は次号に掲載いたします

斎藤賞

- 鈴木諒一 (理工学部建築／修士論文)
「減衰除去インパルス応答を用いた室内音場の周波数特性の解析手法」 指導／井上勝夫教授、羽入敏樹教授、星和磨助教
- 宮本悠平 (理工学部建築／修士論文)
「ケーブルを用いたスパークホイール型大観覧車の地震時挙動に関する基礎的研究」 指導／岡田章教授
- 岡修平 (生産工学部／修士論文)
「長方形 CFT 柱 - 鉄骨梁接合部の構造性能に関する研究 -」 指導／藤本利昭教授
- 薄井良佳 (工学部／修士論文)
「住民主体による景観まちづくりに関する研究」 指導／三浦金作教授、土方吉雄准教授

加藤賞

- 川崎将 (理工学部海洋建築工／修士論文)
「訪日外国人を対象とした複合医療リゾートの提案 - 浜名湖の水辺環境と先進医療を組み合わせた施設の設計 -」 指導／佐藤信治専任講師
- 菅野裕識 (理工学部海洋建築工／修士論文)
「津波漂流物の衝突を想定した RC 部材の挙動に関する実験的研究」 指導／北嶋圭二准教授
- 山川大喜 (理工学部海洋建築工／修士論文)
「首都圏における橋の防災拠点化計画の提案 - 東京都品川区京浜運河に架かる勝島橋をケーススタディとして -」 指導／佐藤信治専任講師

桜建賞

- 内澤良太、座間康成、水田悠月、渡辺芳恵 (理工学部建築／卒業論文)
「鉛直振動に対する年齢変化に伴う振動感覚特性の検討」 指導／井上勝夫教授
- 赤井冬来、小川慶一郎、河野圭一郎 (理工学部建築／卒業論文)
「レンガ壁付き RC 造骨組の耐震性能評価のための数値解析手法の開発 - 國際的なブラインド解析コンテストを通じたアプローチ -」 指導／白井伸明教授、長沼一洋教授、田嶋和樹准教授
- 大沢暁、本藤洋介 (理工学部建築／卒業論文)
「中間層連結制震アウトフレームを用いた鉄塔構造物の制震改修方法」 指導／秦一平准教授
- 竹田実紅 (理工学部建築／卒業論文)
「護国寺茶苑の形成過程とその特徴に関する研究 - 茶会記から見る使われ方の分析 -」 指導／大川三雄特任教授
- 深山大輝、村井雄紀、伊藤和広、高山修 (理工学部建築／卒業論文)
「中心市街地における回遊性向上に関する研究 - 埼玉県越谷市中心市街地を対象として -」 指導／根上彰生教授、長岡篤助教
- 尾崎健 (理工学部建築／卒業設計)
「原風景の再読記 - 町工場からの学びと、転用までの旅路 -」 指導／佐藤光彦教授

桜建賞

- 末武紘一、中川茜 (理工学部海洋建築工／卒業論文)
「低温実験室における尿素模型海水の作製法とその物性」 指導／北嶋圭二准教授、中西三和特任教授、安達洋名誉教授
- 大野真由美 (理工学部海洋建築工／卒業論文)
「日本における海事博物館の位置づけ及び施設の基礎的研究」 指導／畔柳昭雄教授、菅原遼助手
- 橋本佳樹 (理工学部海洋建築工／卒業論文)
「那古船形海岸における砂質干潟の地形特性に関する研究」 指導／小林昭男教授、野志保仁助教、宇多高明客員教授
- 城戸基、山中美穂 (生産工／卒業論文)
「真島健三郎が提案した柔構造架構に関する研究」 指導／藤本利昭教授
- 下田ありさ (生産工／卒業論文)
「屋外曝露試験による各種塗膜のよごれおよび表面劣化の性能評価」 指導／永井香織准教授
- 大坊岳央 (生産工／卒業論文)
「アンコール王朝時代に建造された施療院付属寺院の基本構成について - 神堂の平面計画と伽藍の配置計画の分析を中心として -」 指導／塩川博義教授、小島陽子助教
- 竹之内博子 (生産工／卒業設計)
「伸縮するすまい - 動く壁がもたらす可変性 -」 指導／渡辺康教授
- 塩田直哉 (生産工／卒業設計)
「舞台裏のわらしへ」 指導／大内宏友教授
- 川俣貴史 (工学部／卒業設計)
「山あげの気配 - 祭舞台の日常 -」 指導／浦部智義准教授
- 漆原秀明 (工学部／卒業論文)
「鉄骨トラス置屋根形式建物の弾塑性挙動 - 耐震補強による安全性の確認 -」 指導／浅里和茂教授
- 菱沼匠 (工学部／卒業論文)
「超弾性合金を用いた自己修復 RC 梁部材の実用化に向けた実験及び解析的研究」 指導／Sanjay PAREEK 准教授
- 佐藤幸音 (工学部／卒業論文)
「福島県内における赤瓦を活用した建築物に関する調査研究」 指導／市岡綾子専任講師
- 伊藤雅実、遠藤達也、大迫史弥、福智大輝 (工学部／卒業論文)
「公園内における移動イスの設置方法に関する研究 - エリア特性と移動イス設置適正個数について -」 指導／土方吉雄准教授
- 磯部太一 (短期大学部／卒業研究・設計)
「対話する森 - 船橋市郷土資料館を中心とした多世代の学びの場 -」 指導／矢代眞己教授、高田康史助手
- 伊藤清香 (短期大学部／卒業研究・論文)
「編み込みを用いた木質双曲放物面の形状形成に関する研究 - 最小格子間隔の検討 -」 指導／酒匂教明准教授

オール日大建築系 2015 年度 授与賞・受賞者一覧

理工学部建築学科・理工学研究科建築学専攻

[斎藤賞]

環境系および構造系分野の優れた修士論文に対し、斎藤賞基金に基づき、桜門建築会より授与。元日本大学副総長、理工学部長であった斎藤謙次先生の高い業績を称えて設けられた。

* 6 ページ参照

[吉田鉄郎賞]

設計・計画系分野の優れた修士論文および修士設計に対し、駿建賞基金に基づき、建築学科教室より授与。本学の設計教育の礎を築かれた建築家であり、かつ日本の建築文化の優れた論考を残した吉田鉄郎先生の業績を記念して命名。

・今野政憲「昭和初期における「新興建築」の理念に関する研究 -「新興建築家聯盟」の結成背景と参画者の活動の分析を通じて-」
〔修士論文〕 指導：田所辰之助教授、大川三雄特任教授

・岩井都夢「久屋大通公園における環境型雨水調整施設の計画 -水循環に共生する建築・インフラ・ランドスケープデザインの混成型空間の提案-」
〔修士設計〕 指導：山崎誠子准教授、今村雅樹教授

[駿建賞]

環境系および設計・計画系分野の優れた修士論文および修士設計に対し、駿建賞基金に基づき、建築学科教室より授与。

・秋本恭平「木造建築物の重量床衝撃音を対象とした対策方法と評価方法に関する研究」
〔修士論文〕 指導：井上勝夫教授
・小笠舞穂「美術館における無料公開された室・スペースに関する研究」
〔修士論文〕 指導：佐藤慎也准教授
・佐藤達弥「中間領域を取り入れた地域密着型認知症介護施設の計画 -東京都三鷹市井の頭地域を事例として-」
〔修士設計〕 指導：佐藤光彦教授

・須藤匠「リノベーション建築の部位が有する多様性に着目した空間分析及び設計提案」
〔修士設計〕 指導：古澤大輔助教

[駿構賞]

構造系分野の優れた修士論文に対し、駿構賞基金に基づき、建築学科教室より授与。

・相川翔太「木造面格子壁の動的性状に関する基礎的研究 -載荷速度が剛性・耐力・エネルギー吸収性能に及ぼす影響の把握-」
〔修士論文〕 指導：岡田章教授
・菅野貴行「キャメルコースターの基本的構造特性に関する基礎的研究 -地震応答性状の把握と簡易評価手法の提案-」
〔修士論文〕 指導：岡田章教授
・佐藤亮介「鉄骨プレースにより補強を施した RC 骨組構造の耐震性能評価」
〔修士論文〕 指導：白井伸明教授

[桜建賞]

優れた卒業論文および卒業設計に対し、桜門建築会より授与。
* 6 ページ参照

[奨励賞]

優れた修士論文および優れた卒業論文・卒業設計に対し、理工学部校友会からの寄金に基づき、建築学科教室より授与。

毎年卒業の時期に、大学院生、学部生の勉強の成果を顕彰する各種の賞が決定する。今号も 2015 年度に受賞した学生とそのタイトルを、一覧にして紹介する。

- ・真田はる「星光を取り入れた展示空間における立体作品の見えの評価と光環境設計要因の関係性」
〔修士論文〕 指導：橋本修准教授
- ・山田峻作「透水が地盤の液状化挙動にあたえる影響に関する実験的研究-多質点系オンライン実験システムを用いた検討-」
〔修士論文〕 指導：安達俊夫教授
- ・趙在赫「考試院の変遷と居住形態に関する研究 -韓国の考試院密集地を対象として-」
〔修士論文〕 指導：山中新太郎准教授
- ・弦間祐樹「日射センサー及び積分球により日射透過率を測定する方法の開発」
〔卒業論文〕 指導：池田耕一特任教授
- ・山田健人「各種混和材を用いたコンクリートの試験時材齢および仕上材の種類が中性化速さに及ぼす影響」
〔卒業論文〕 指導：中田善久教授、宮田敦典助手
- ・田胡みすず「ルイス・カーンの建築における採光手法の研究」
〔卒業論文〕 指導：矢代眞己教授、高安重一助教、高田康史助手
- ・永田琴乃「モノリス -「重さ」が担う建築の存在について-」
〔卒業設計〕 指導：田所辰之助教授

[駿優賞]

優れた卒業論文および卒業設計に対し、駿建賞基金に基づき、建築学科教室より授与。

- ・永田琴乃「モノリス -「重さ」が担う建築の存在について-」
指導：田所辰之助教授

[AD 賞]

- ・尾崎健「風景の再詠記 -町工場からの学びと、転用までの旅路-」
〔卒業設計〕 指導：佐藤光彦教授
- ・永田琴乃「モノリス -「重さ」が担う建築の存在について-」
〔卒業設計〕 指導：田所辰之助教授

[駿建コンペティション業績賞]

設計競技で優秀な成績を残した大学院博士前期課程の学生に対し、駿建賞基金に基づき、建築学科教室より授与。近江栄先生の発案により設立。

理工学部海洋建築工学科・理工学研究科海洋建築工学専攻

[加藤賞]

もっとも優れている修士論文に対し、桜門建築会より授与。海洋建築工学科を創設された元理工学部長の加藤涉先生の功績を称えて設けられた。

* 6 ページ参照

[桜建賞]

* 6 ~ 7 ページ参照

[海建優秀賞]

- もっとも優れている卒業論文に対し授与。
- ・渡邊亮「津波ハザードマップの表記内容の統一性に関する研究 -全国の沿岸市町村における不統一の現状と課題-」
指導：桜井慎一教授
 - ・松岡晃弘「港湾内係留浮体の津波防災対策手法に関する基礎的研究 -乗り上げ防止用パラベットの提案と船舶の衝突エネ

ルギーの検討-」
指導：増田光一教授、居駒知樹教授、惠藤浩朗准教授

[海建賞]

- ・遠藤裕伸「船橋三番瀬海浜公園における放射線量の観測とその特性解析」
指導：大塚文和准教授、川西利昌名誉教授
- ・荒川高広、栗原和也、小勝太洋「循環型浄化システムを用いた堆積汚泥からの放射性セシウム除去 - 第 2 報 汚泥粒径の性状特性-」
指導：岡本強一准教授
- ・井手佑介「並列 2 角柱の流体力特性に関する 3 次元数値解析」
指導：近藤典夫教授
- ・高橋翔「新宿群中街 - 新宿ゴールデン街更新計画-」
指導：佐藤信治専任講師
- ・田口将広「海水浴場利用者を対象とした自動車避難時の津波防災意識調査に関する研究」
指導：登川幸生教授
- ・山崎千菜、疊谷厚史「PCaPC 部材のせん断終局強度式に関する研究 その 1 せん断終局強度式に対する検討」
指導：浜原正行教授、福井剛准教授
- ・佐藤陽一「漁村集落における高齢者の津波避難リスクの軽減に関する研究 - 三重県度会郡南伊勢町槌柄浦を対象として-」
指導：山本和清専任講師、近藤建雄特任教授

生産工学部建築工学科・生産工学研究科建築工学専攻

[斎藤賞]

* 6 ページ参照

[金井賞]

優れた修士論文に対し、建築工学専攻より授与。元日本大学副総長、生産工学部長の金井清先生が地震学で高い業績(朝日賞受賞)を上げたことを称え、1980 年度から設けられた。

- ・高橋謙太「小規模建築物への CLT の活用方法に関する考察 (木造パッチワーク構法の提案)」
指導：渡辺康教授、岩田伸一郎准教授

[桜建賞]

* 7 ページ参照

[卒業論文賞]

優れた卒業論文に対し、建築工学科より授与。2014 年度に設けられた。

- ・城戸基、山中美穂「真島健三郎が提案した柔構造架構に関する研究」
指導：藤本利昭教授
- ・下田ありさ「屋外曝露試験による各種塗膜のよごれおよび表面劣化の性能評価」
指導：永井香織准教授
- ・大坊岳央「アンコール王朝時代に建造された施療院付属寺院の基本構成について -祠堂の平面計画と伽藍の配置計画の分析を中心として-」
指導：塩川博義教授、小島陽子助教
- ・田中良「歴史的建造物の維持保全に関する研究 -80 年経過した実建物の緑青銅板の劣化調査-」
指導：永井香織准教授
- ・郡司和弥、永井明男「RC 造及び S 造建築物の地震時挙動に関する研究 - 握れ振動の検討-」
指導：藤本利昭教授
- ・中村裕貴、真島諒、加藤大樹、岡田椰子、宮本直彦「日本大学生産工学部 37・39 号館講義棟の省エネルギーと CO₂ 排出量低減に関する研究」
指導：三上功生専任講師
- ・小西徹「クメール宗教建築の排水システムに関する実証的研究 -10-11c に建立された 3 伽藍の排水技術の分析を中心にして-」
指導：塩川博義教授、小島陽子助教

[UIA 記念賞]

優れた卒業設計に対し、建築工学科より授与。1978 年国際建築家連合主催の国際コンペでフランス建築アカデミー賞、1981 年エジプト賞およびワルシャワ建築計画局賞の受賞を記念して、81 年度から設けられた。

- ・伏見佑介「境界の家」
指導：篠崎健一准教授

[卒業設計賞]

優れた卒業設計に対し、建築工学科より授与。2014 年度に設けられた。

- ・竹之内博子「伸縮するすまい - 動く壁がもたらす可能性-」
指導：渡辺康教授
- ・塩田直哉「舞台裏のわらしへ」
指導：大内宏友教授
- ・伏見佑介「境界の家」
指導：篠崎健一准教授
- ・星本菜月「Laboratory&Museum for water purification - 印旛沼の再生に向けて-」
指導：北野幸樹准教授
- ・小林航也「雨露の樓閣」
指導：岩田伸一郎准教授
- ・永井英子「江戸切子美術館」
指導：篠崎健一准教授
- ・伊藤優太「常滑の器」
指導：篠崎健一准教授
- ・加藤慎也「建築と余白の狭間」
指導：大内宏友教授

[中国科技大学特別賞]

学部と学術提携締結にともない 2012 年度より設けられた賞。台湾の中国科技大学规划設計学院より授与される。

- ・小林航也「雨露の樓閣」
指導：岩田伸一郎准教授

工学部建築学科・工学研究科建築学専攻

[斎藤賞]

* 6 ページ参照

[桜建賞]

* 7 ページ参照

[北桜賞]

優れた卒業論文、卒業設計に対し、工学部建築学科より授与。

- ・尾形雅人「RC 構造物の長寿命化を目的とした自己修復コンクリートの開発」
指導：Sanjay PAREEK 准教授

短期大学部建築・生活デザイン学科

[桜建賞]

* 7 ページ参照

[奨励賞]

優れた卒業論文および卒業設計に対し、建築・生活デザイン学科より授与。

- ・阿久戸信宏「常時微動測定による船橋 9 号館の耐震性能の評価」
指導：酒匂教明准教授
- ・石井賢二郎「日本大学理工学部船橋キャンパス内における温熱環境に関する研究 -1112 教室の温熱環境実態調査-」
指導：吉野泰子教授
- ・臼井麻彩「メグルミ - 洋光台集会所の新しい衣食住のくらし-」
指導：矢代眞己教授、高田康史助手
- ・大貫咲乃「クリーニング店の室内温熱環境の実態と改善手法に関する検討」
指導：吉野泰子教授
- ・熊原詩織「三井住友海上ビル新館の植栽樹木の現状についての研究」
指導：山崎誠子准教授
- ・砂塚知哉「階段の実測調査によるたわみ量の比較」
指導：佐藤秀人准教授

追悼

石丸辰治先生を偲ぶ

本学理工学部建築学科で長らく教鞭をとられた石丸辰治先生が2015年9月24日、75歳で逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

石丸辰治先生は1963年3月に日本大学理工学部建築学科卒業後、田治見宏先生のもとで研究生活を始めました。日本大学理工学部で40年以上にわたって教育と研究に精進され、数々の研究成果と歴史に残る著作と多くの教え子を残されました。

先生は早くから構造物の地震応答をエネルギーの観点からとらえられ、エネルギースペクトルの変数分離を基本とした、多自由度非線型系の地震応答の塑性率制御法を提案しました。これらの「建築物の地震応答制御に関する研究」で94年度の日本建築学会賞(論文)を受賞されました。さらに非線型粘性ダンパー、弾塑性ダンパーとダイナミック・マスを併用、または複合した系に対する設計法の研

究・提案を行っています。こうした先生の研究は常に世間の理解より少し早すぎるものでした。これらは、これからいっそう理解されていくものでしょう。

また、先生は「耐震構造」ではない、「対震構造」ということばの発案者でもあります。これは耐震・免震・制震を含めて、動的構造設計の視点から地震に「対処」する設計方法という立場から名づけたものです。

1995年の阪神淡路大震災後、先生は研究の社会へのフィードバックを目指して、制振デバイスの開発、設計法の開発に注力されました。2003年には長年の研究成果を

自身で創設されたi2S2の技術顧問として、精力的に活躍されてきました。

このような熱い思いと未来への願いは、遺稿となりました免震協会会誌への特別寄稿「Dynamic Massへの誘い」(「MENSHIN」No.90、2015.11)で読むことができます。

石丸辰治先生はいつも卒業生に、過去は変えられない、未来は変えられるということばを贈っていました。先生の教えは私たちの中で脈々と受け継がれていくと確信しています。長年にわたる厳しくも温かいご指導に感謝するとともに、心から哀悼の意を表します。

古橋剛(理工学部建築学科教授)



石丸辰治先生
享年75歳(2009年5月撮影)

2009年に大学退任後も、先生ご

桜建会報 NO.105 2016-March
発行人 岩井光男
編集 桜門建築会広報委員会
〒101-8308 千代田区神田駿河台1-8-14
日本大学理工学部内

広報委員会
委員長 佐藤慎也(理工学部建築学科)
副委員長 塩川博義(生産工学部建築工学科)
委員 大川三雄(理工学部建築学科)
委員 山本和清(理工学部海洋建築工学科)
亀井靖子(生産工学部建築工学科)
ブンタラ・S・ガーン(工学部建築学科)
矢代真己(短期大学部建築・生活デザイン学科)
大西正紀(mosaki)
西山麻夕美(フリー編集者)
北川健太(セカイ)

桜建会事務局
住所・所属の変更、クラス会の開催、投稿、会費、名簿など桜建会全般についてお気軽にご連絡、お問い合わせください。
理工学部5号館7階574A号室
TEL03-3259-0649 FAX03-3292-3216
E-mail kaiin@okenkai.jp
ホームページ http://www.okenkai.jp/
専任/星野麻衣子
非常勤/櫻井佐和、大木明子
業務時間/AM10:00~PM5:00(月~金)

学部ニュース



トピックス

◎浦部准教授+浦部研究室が関わった、「中山間地における集会施設とまちづくり活動『地形舞台 - 中山間過疎地域に寄り添う茅葺き集会施設と舞台を起点とするまちづくり活動』」と「木質構法を用いた復興住宅技術モデル『小規模コミュニティ型木造復興受託技術モデル群 - 希望ヶ丘プロジェクト』」が2015年グッドデザイン賞を受賞した。

◎西渕健人君(市岡研・4年)は、2015年11月7日、毎日新聞社主催第1回学生住宅デザインコンテストでHINOKIYA賞を受賞し、表彰された。
◎昨年春の叙勲で、本学科出身で福島県内工業高校の教員として県内の工業教育と後輩育成に永年尽力された関根敬次先生(元福島県立福島工業高等学校長)が瑞宝小綬章を受章された。



建築学科トピックス①

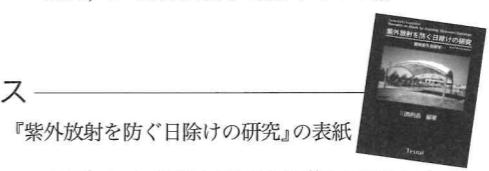
◎「第50回地盤工学研究発表会」(主催/公益社団法人地盤工学会)で、宮澤翔さん(地盤基礎研、M2)が、研究論文「累積塑性ひずみエネルギーを用いた液状化による沈下量の検討」を発表。「地盤防災地震液状化」セッションの「優秀論文発表者賞」を受賞した。これは今後の地盤工学分野を担う若手技術者、若手研究者の活性化、研究意欲の向上を目的としたもので、各セッションの座長が推薦した35歳以下の発表者が対象。今回は149名が受賞した。

◎「2015年度日本建築学会大会学術講演会」(主催/一般社団法人日本建築学会)で、笛田寛さん(地盤基礎研、M1)が、研究論文「グルコン酸系分散剤による地盤改良体の品質改善に関する研究」の発表によって、「基礎構造部門若手優秀発表者」に選出された。これは日本建築学会年次大会の基礎構造に関するセッションで優れた発表を行った30歳未満の学生・社会人・研究者が対象で、今年度は5名が選ばれた。

◎「第1回学生デザインコンペ・未来のとびらコンテスト - 《大学生版》」(主催/三協立山)で、米田誉仙さん(3年)と池田貴大さん(同)の作品「まちの団欒 変わらない風景」が個人住宅部門優秀賞(第2位)を受賞した。テーマは「ずっといたくなる家」。

◎「千代田区を舞台にした学生設計展2015」(主催/公益社団法人日本建築家協会、後援/千代田区)が、昨年11月19~21日に、千代田区役所民ホールにて開催。野下啓太さん(今村研、4年)、太田みづきさん(同)の、稻葉来美さん(佐藤光彦研、4年)の作品が展示され、他大学の学生作品とともに発表・トークセッションが行われ、好評を得た。

◎「第13回主張する「みせ」学生デザインコンペ」(主催/商業施設技術団体連合会)で、下田麻穂さん(今村研、4年)の作品「循環するみせ」が審査委員特別部門賞を受賞した。



海洋建築工学科トピックス

『紫外放射を防ぐ日除けの研究』の表紙

◎2015年11月にバリアレスシティアワード実行委員会(日本建築士連合会、東京建築士会後援)が開催した「Barrierless City Award & Competition 2015 - 旅行者に優しいデザイン-」で、畔柳昭雄教授がデザインした茶室「一瞬亭」が実作部門で優秀賞を受賞した。

◎川西利昌名誉教授は2016年1月、『紫外放射を防ぐ日除けの研究』をテクネ社から出版した。海浜での日焼けと紫外線防御日除けに関する研究を、卒業研究生や大学院生と長年にわたり実施し、その研究成果を書籍にまとめたもので、建築学会論文集に掲載された論文が主になっている。主な内容は研究者向きだが、研究上のエピソードを記したコラムを多数入れ、読みやすいように配慮してある。表紙は船橋校舎にある斎藤公男名誉教授設計のWelcome Domeである。

◎日本大学名誉教授・日本建築学会名誉会員の西村敏雄先生が昨年10月31日にお亡くなりになりました(享年84歳)。「名誉会員・西村敏雄先生の逝去を悼む」と題する新宮清志名誉教授の追悼文が、日本建築学会の「建築雑誌」3月号(78ページ)に掲載されました。

◎第13回主張する「みせ」学生デザインコンペ(主催/商業施設技術団体連合会)で、志賀侑太君(佐藤信治研、

上/「どこでも自販店」。下/第4回歴史的空间再編コンペティションで入賞者たちと記念写真。



◎「第1回修士課程学生プロポーザル・デザイン・コンペティション」(主催／修士課程学生プロポーザル・デザイン・コンペティション実行委員会+総合資格)で、今村研究室チーム(土屋伸吾さん、清水亮輔さん、小関真子さん、中辻千尋さん、佐藤累さん、奈良橋佳洋さん、波多腰渉さん(M1)の作品「呼吸するメトロポリス 減算的手法による広場とネットワークの創出」が優秀賞を受賞した。新宿副都心の再生をテーマに、超高層の足元を快適につなぐネットワークが求められた。

◎キルコス国際建築設計コンペティション2015(主催／キルコス国際建築設計コンペティション実行委員会)で、齊藤佑樹さん(佐藤光彦研、M1)の作品「共有される大黒柱 内の柱・外の枝」が近藤哲雄賞金賞と米澤隆賞銀賞と国広ジョージ賞佳作、小関真子さん(今村研、M1)、川田実可子さん(古澤研、M1)の作品「侵食する外はマチのイエとなる」が安井秀夫賞金賞と篠原聰子賞銅賞と能作文徳賞佳作、村田皓平さん(佐藤光彦研、M1)、白木大一さん(同)の作品「旅する浮島水族館」が工藤国雄賞金賞と安井秀夫賞銀賞、白木大一さん、敦賀俊さん(佐藤光彦研、M1)の作品「ひとつの家の窓からはじまる 新しいまちのものがたり」が能作文徳賞金賞と米澤隆賞佳作、をそれぞ

れ同時受賞した。また、中辻千尋さん(今村研、M1)の作品「うつろう居場所」が五十嵐太郎賞佳作、清水亮輔さん(今村研、M1)鳥居希衣氏(東京都市大学大学院)と共同)の作品「響き渡る波紋」が吉村靖孝賞佳作を受賞した。

◎「第17回シェルターインターナショナル学生設計競技2015」(主催／シェルター)で、齊藤佑樹さん(佐藤光彦研、M1)の作品「身体的巨大建築 1386の部屋と1つの空間」が入賞を受賞した。テーマは「自由な建築」。

◎「第7回ハーフェレ学生デザインコンペティション2015」(主催／ハーフェレジャパン)で、齊藤佑樹さん(佐藤光彦研、M1)の作品「深呼吸する絨毯」が五十嵐賞を受賞した。テーマは「私の隠れ家 My Secret Hiding Place」。

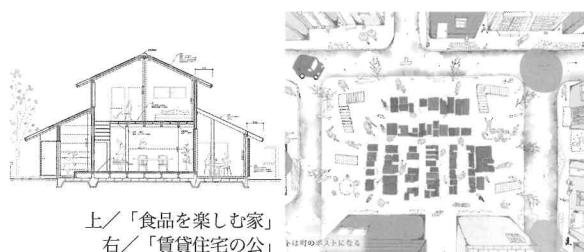
◎「歴史的空間再編コンペティション2015 第4回「学生のまち・金沢」設計グランプリ」(主催／歴史的空間再編学生コンペ実行委員会、金沢市)で、清水亮輔さん(今村研、M1)の作品「積層する界隈 ラジオセンターの空間エレメントから導きだされた秋葉原的空間広場の再編」が第10位となる十等を受賞した。

◎「木の家設計グランプリ」(主催／谷口工務店)で、西島修悟さん(佐藤光彦研、M1)の作品「凸凹邸 近隣との距離を再考する」が竹原義二賞・伊礼智賞をダブル受賞。テーマは「となり近所との、いい関係をつくる住まい」。

◎「第22回ユニオン造形デザイン賞」

◎毎日新聞主催「第1回学生住宅デザインコンテスト」、テーマ「家をとことん楽しむ」で、応募作品200点中、高橋奈弓さん(4年)が「食品を楽しむ家」で入選した。

◎第4回大東建託賃貸住宅コンペ、テーマ「賃貸住宅の公(おおやけ)」で、応募作品313点中、岡田夏樹さん(3年)、郡司育巳さん(同)、加藤裕太さん(M1)が学生特別賞を受賞した。



上／「食品を楽しむ家」
右／「賃貸住宅の公」

(主催／ユニオン造形文化財団)で、齊藤佑樹さん(佐藤光彦研、M1)の作品「思い出への液体ドア」が佳作Bを受賞。テーマは「あなたの『どこでもドア』」。

◎「第9回全日本学生建築コンソーシアム住宅設計コンペ2015」で、齊藤佑樹さん(佐藤光彦研、M1)の作品「やわらかなカーテンウォールの家」が佳作を受賞した。テーマは「母の家 身近な高齢者の1人住まいを考える」。



①呼吸するメトロポリス②まちの回遊③旅する浮遊水族館④ひとつの家からはじまる 新しいまちのものがたり⑤侵食する外はマチのイエとなる⑥共有される大黒柱⑦うつろう居場所⑧響き渡る波紋⑨身体的巨大建築⑩深呼吸する絨毯⑪積層する界隈⑫凸凹邸⑬循環するみせ⑭思い出への液体ドア

